

1

長糸小学校
研究計画と取組の全体像

● 教育革新を目指した包括的なプラン紹介



3

研究計画の目的と背景

自己調整力の育成

児童が主体的に学び、自己調整しながら成長する力を重視している。

探究と協働の重視

探究心や仲間と協働する力を育成し、社会変化に対応する力を養っている。

循環型の学び

児童と教師が共に成長する循環型学びの仕組みを学校全体で構築している。

テーマ別教育活動

曜日ごとにテーマを設定し、一貫性のある教育活動を実践している。

4

1週間を単位とした循環型の学び

月曜日
探究学習

児童は自ら課題や教材を選び、主体的に学びのスタートを切る時間を持ちます。

火曜・水曜日
教師研修

教師は授業改善と協材研究を行い、指導力向上に努める時間として活用されます。

木曜日
集団づくり

学級活動や縦割り活動を通じて、児童間の人間関係を深める時間です。

金曜日
振り返りと自己調整

1週間の学びを振り返り、自己調整と次週の目標設定を行う時間が設けられます。

5

曜日別の単体的取組

月曜メニュー

主体性を育てる探究学習

火曜・水曜メニュー

研修の深化と拡大

木曜メニュー

集団づくりと人間関係の育成

6

月曜メニュー：主体性を育てる探究学習

● 自主的な学習選択

児童は自分で学習課題や教材を選び、自ら考える主体的な学びを促進している。

● 協働学習の促進

同じ課題を選んだ友達とグループを作り、相談しながら学習を進める環境を提供している。

● 教師の個別支援

教師は一斉指導だけでなく、児童の状況を把握し助言や支援を行う役割を果たす。

● 学び方の習得

探究学習は知識増加だけでなく、学び方そのものを身につける重要な機会である。

7

火曜・水曜メニュー：研修の深化と拡大

● 火曜日の研修深化

40分授業を基に協議と外部講師を招き、授業内容の改善を目指す研修時間です。

● 水曜日の研修拡大

教材研究や個人研究、文献読解を通じて教師個々の専門性を高める時間です。

● 協働と個別の融合

火曜の協働研修と水曜の個別研修で実践と理論を行き来し指導力向上を図ります。

8

木曜メニュー：集団づくりと人間関係の育成

● 集団づくりの時間

木曜メニューは児童の集団づくりを目的とし、様々な特別活動が計画的に行われる時間です。

● ソーシャルスキルの育成

レクリエーション活動を通じて、児童は協力の大切さや人との関わり方を学びます。

● 縦割り活動の効果

異学年交流の縦割り活動により、思いやりや責任感が育まれます。

● 学習基盤の形成

安定した人間関係づくりは学習の基盤となり、木曜メニューがそれを支えます。

9

振り返りと今後への展望

金曜メニュー

自己調整と振り返りの習慣化

まとめ

児童と教師が共に成長する学校づくり

10

金曜メニュー：自己調整と振り返りの習慣化

● 自己調整の時間設定

毎週や毎月の取組を振り返り、次の学習や生活に繋げる自己調整の時間を設けています。

● 学級全体の振り返り

学級全体で重点目標を振り返り、翌週や翌月の目標を共有して集団の方向性を確認します。

● テストの目標設定と振り返り

漢字や算数のテストで目標点を設定し、結果を振り返って学習の見直しを持たせます。

● キャリアパスポート活用

キャリアパスポートを使い、自己理解を深める手段として活用しています。

今週のふりかえり

☒ よくできた

☐ できた

☐ もう少し

11

まとめ：児童と教師が共に成長する学校づくり

主体的な学びの促進

児童の主体的な学びを支える取り組みが学校の教育方針の中心となっている。

教師の継続的成長

教師の研修や振り返りが体系的に行われ、専門性の向上に繋がっている。

学びのリズム形成

曜日ごとの計画的な活動により、学校全体で安定した学びのリズムが確立されている。

継続的な改善と追求

児童の実態や社会変化に柔軟に対応し、教育活動の質を継続的に高めている。